

2022-2023

第4回例会

会 報 No. 1190 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520
会長：安田直樹、副会長：小林佳雄、幹事：鈴木雅晶、出席・会報委員長：三輪真大

令和4年8月3日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋 5F ザ・グレイスA 担当：国際奉仕

国歌「君が代」/ロータリーソング「奉仕の理想」/「四つのテスト」：平野 正博 さん

ロータリーの友 8月号読みどころ紹介：水谷 直人 さん

ゲスト 湯谷温泉はづ 若主人/Café & Guesthouse Hoo!Hoo! オーナー 加藤 直詳 氏

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	7月13日修正出席率	ビジター
	51名	47名	7名	12名	74.47%	93.48%	0名

会長挨拶 安田 直樹 会長

今月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。全員の力で増強を進めましょう。本日は国際奉仕担当の例会です。例年韓国中央大学の学生さんの卓話でしたが、今回は違う切り口から、加藤様に奥三河での地域振興についての話を伺います。

本日のプログラム

『地域を持続させる挑戦 - 奥三河の事例紹介』

湯谷温泉はづ 若主人

Café & Guesthouse Hoo!Hoo! オーナー

加藤 直詳 氏

奥三河に若者が集まりやすい場所であったり、海外の方たちに来ていただきやすいような環境をつくっていききたいと思っております。愛知県から支援をいただいてカフェ、ゲストハウス、ワーキングスペース、皆が集まって仕事ができる場を湯谷温泉の中に持っています。奥三河で何かしたい人をバックアップ、サポートしていくことを心掛けています。奥三河（新城、設楽、東栄、豊根）で人口が年間650人減っていく中で、東栄町のみ転出を転入が上回っているのが最近の現状です。東栄町は若い人たちに限らず高齢者の移住者が増えています。移住者がSNSに楽しい様子を投稿したりすると自然と寄ってきて、結構定着されて住んでいます。ここで、奥三河で頑張ってるっしやる先輩たち二人の紹介をしようと思います。設楽町田峯、60代後半の加藤さんという方、山林の保護活動、動植物の研究を日々されています。戦後、アメリカの宣教師が1万2千体の青い目の人形を配り、その中の1体が田峯小学校にもありました。この加藤さん、田峯小学校PTAの親御さんたちが、その人形を里帰りさせたい、田峯の子どもたちにアメリカを見せたい、そんなことで訪米事業が始まりました。青い目の人形を持って行ってホームステイさせたり、歌舞伎を上演する、というようなことをされて2013年まで8回行っておりました。初回は行政から資金のサポートを受けましたが、2回目からはほぼ自己財源だけで、300万円/年、3年で900万円少し足して1000万円にして子どもたち10数人と大人数でアメリカに行っていました。学校統廃合の危



機のとときは宅地造成し、児童数を増やすなどして、当時人口は200人から250人増えましたが、次第に時代の流れで古い住人と新しく移住されて来た方たちとの価値観の違いがあったり、地域活動をやりきれなくなり訪米事業は2015年終了となっております。これはこれで次のステップへと考えているみたいです。もう一人、豊根町茶臼の里合同会社を2006年に起業された村井さん。豊根町で暮らすことを諦めない、いつまでもここで暮らせるように、という願いを込めて雇用を生み出そうと、女性を道の駅で働いてもらい、男性は耕作放棄地を無くしていききたいという思いで田んぼを耕し、出来たお米で五平餅を販売しています。2011年から田んぼオーナー制を始めて都会の人たちに参加してもらっています。ただ若手の人口が少なく、地域おこし協力隊の定着もやさしくない現状です。個人を頼るよりも企業とコラボした方が豊根村にはいいだろう、とサンデーフォークプロモーションと豊根村との橋渡しをして今、若い社員さんが田んぼオーナー制の勉強をもらっています。茶臼山高原でライブイベントの計画もしています。奥三河だけでなく豊橋も人口が減っていきます。江戸時代と同じくらいの人口になっていくと言われていますが、その時代にも出来た事から学ぶこともできます。我々世代に負担がきてもなかなか消化し切れないうえですが、楽しみながら、地域に携わりながらやっていこうと思っております。

3分間スピーチ 鎌田 哲也 さん

この2年半のコロナ禍でどういう風に我々の業界が変わったかお話しさせていただきます。顧客の8割が修学旅行、遠足関係、あと2割がグループ関係です。その中で一番変わったのが団体旅行の創客。協力会としてホテル、ドライブイン、旅行会社三位一体で創客、受入れを行ってききましたが、団体客は激減しました。そんな中、OTAシステム（インターネット予約など）で個人客に大幅シフトしました。昨年は195日の行動規制でドライブインの団体受入れが影響を受けました。この状況が落ち着けば、元に戻るだろうと思いますが、現状、OTA旅行システム伸びているといった状況です。



写真・原稿：山内 朝貴 さん